

# 高田援護室長の模型部屋(第21回)

皆さん、こんにちは。だんだん暑くなってきました、夏ですね。汗をかきながら作る「夏プラモ」(笑)は最高です。塗料はすぐに乾くし、接着時間も短い。ただ、指先から汗や脂が出てしまうので、塗装前によく汚れを拭き取らなければならないのが少し面倒くさいかな。

さて、私の自衛隊車両シリーズもネタが尽きてきました。基本的に市販されている模型を作るので、発売されなければ当然増えないこととなります。とはいいいながら、前回の10式ドーザ戦車の様に、小改造を加えて増やせる物もあります。今回もそんなキットの中から・・・

## 軽装甲機動車 通称:LAVです。



軽装甲機動車はタミヤさんから発売されてますが、イラク派遣仕様なので一般仕様とは若干異なります。今回は、高田駐屯地の第2普通科連隊に装備されている実車を元にキットに小改造を施し、一般仕様の車両を作りました。

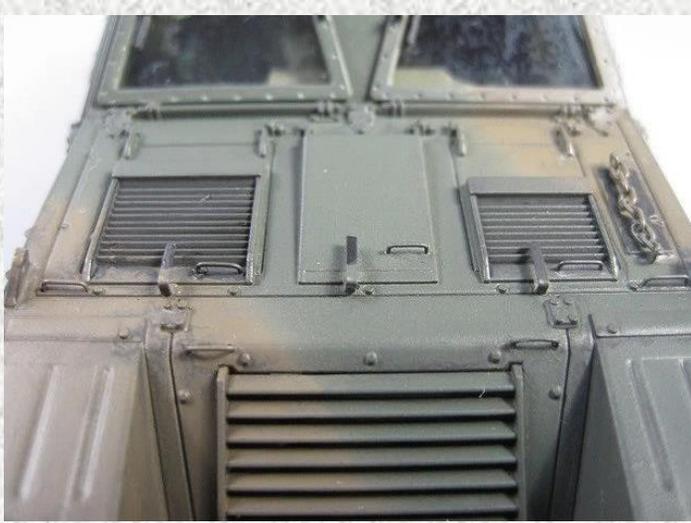
仕事を終え、駐車場地区に行ってスケッチや写真を撮り、それらを眺めながら細部の改造を施しました。やはり実車を見ながら作れる環境にあるのは自衛官モデラーの特権ですね。でも、車体の下や窓から車内を覗き込んでメモする私の姿はかなり不審者っぽかったでしょうね。

自衛隊装備品が好きな**27歳未満**のモデラーの皆さん、入隊してみませんか？本物を見ながら作る幸せを感じましょう(笑) 詳しくは、お近くの地方協力本部へ！



軽装甲機動車は、運用により発煙弾発射器やアンテナの装着位置などが異なっていますので、自衛隊広報イベントでの実車を見たり、装備品写真集などを参考にして製作するのがよいかと思います。私は普通科隊員ではないので、装着の違いの理由はわからないのですが、いろんなタイプの車両があるようです。その中から機関銃架が取り付けられたのが一番カッコよかったので、それを作りました。

高田駐屯地の第2普通科連隊の車両を実際に確認しながら、装備や迷彩パターンも同じにしてみました。隊員達も「え、室長、LAVの模型作るんですか？ぜひ見てください！」と、とても協力的でした(笑)



ボンネット部の各種ハッチレバーや取手が省略されているので、0.3mm真鍮線やエッチングパーツの金属板を切り取って折り曲げたものを使用して表現しました。チェーンは他のキットについていたものから流用し、その下はゴムシートになっているのでフラットブラックで塗装しています。チェーンが大きかった(泣) 実車を見ながら製作できたのは本当によかったです。自衛官でよかったです(笑)



フェンダーミラーはキットは横向きでの成型ですが、一般型は縦になっているので、いったん切り取り、向きを変えて接着しています。死角用のアンダーミラーは車両によっては両方についていることもあります。今回の車両は両方付いてたので、伸ばしランナーとWAVE社のレンズキットを使用して作成しました。これで安全運行もバッチリ！



車体後部の携行缶ラックの取り付け基部をプラ版で作りました。ボルトはファインモールド社の日本戦車キットのランナーに付属しているリベットを切り取り接着しました。なんとなく曲がっているように見えますが・・・まあ、いいやと製作を進めました。

部品を自作するって実は苦手なんですよね。部品の計測・縮小計算、材料の選定、切り出し・折り曲げ加工、そして、「こんなもんでいいか」と思う妥協(笑)が必要です。



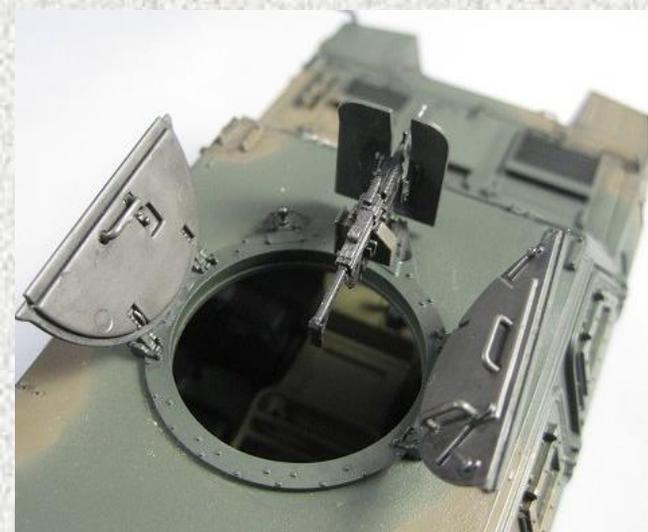
車体上部のワイヤーカッターの取り付け部や資材ラックの取り付け部はボルトのみになっているので、計測して位置を決めて伸ばしランナーやプラ板を切り出したものを接着しました。



キットでは窓枠に開閉するためのアクチュエーター(黒いシリンダー)がパーツ化されていないので、伸ばしランナーでそれらしく作りました。

ガラス部はクリアブルーを塗装となっていますが、うっすらと青みがかったりするので、薄めたクリアブルーをさらっと吹き付けて、それらしくしました。

材質の違いなのか、戦車のように「赤錆び」などの材質劣化による汚れが少ないんですね。LAVを作る時は注意してください。泥汚れはあっても、錆び汚れはつけないほうがリアルだと思いますよ。



機関銃 MINIMI は全体をフラットブラックで塗装した後、金属部分にメタルカラーのダークアイアンを重ね塗りし、擦って磨いて金属感を出しました。



組み立て説明書で、車内色はタミヤカラーのスカイが指示色となっていますが、ドアの内側は全面オリーブドラブ色となっていますので、そのように塗り分ける必要があります。

以下、GSIクレオスの色です。参考までに・・・

操縦装置、コンソール部：オリーブドラブFS34087  
ドア、上部ハッチ内面：オリーブドラブ(2)  
ハンドル、座席：フラットブラック、セミグロスブラック  
その他の内側：タミヤカラーのスカイ

乗車しているドライバーはキットの彼(笑)を使用しました。迷彩服の塗装が面倒なので乗せないでおこうかな・・・とも思ったのですが、頑張って塗装して乗せました。でも、ほとんど見えません(泣)

陸自迷彩服の塗装は、本当に疲れます。自分の迷彩服を部屋の壁にハンガーでかけて、そのイメージになるように塗装するのですが。以下、色の参考までに・・・

基本色：コックピット色(中島系)  
緑：ロシアングリーン  
茶色：レッドブラウン  
黒：フラットブラック

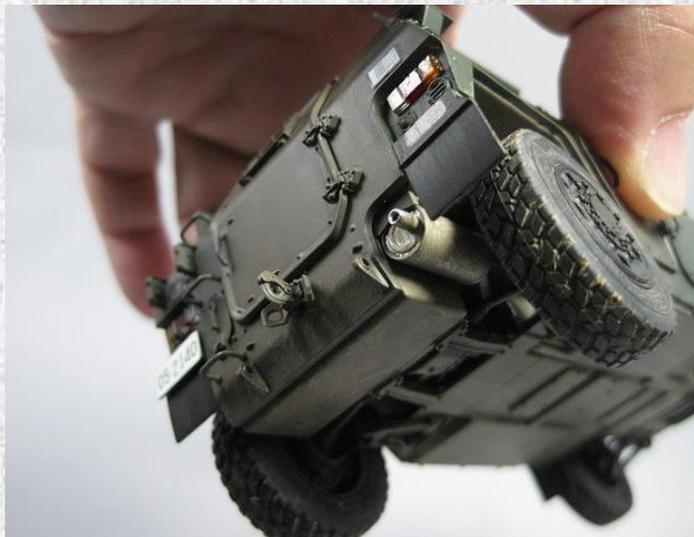
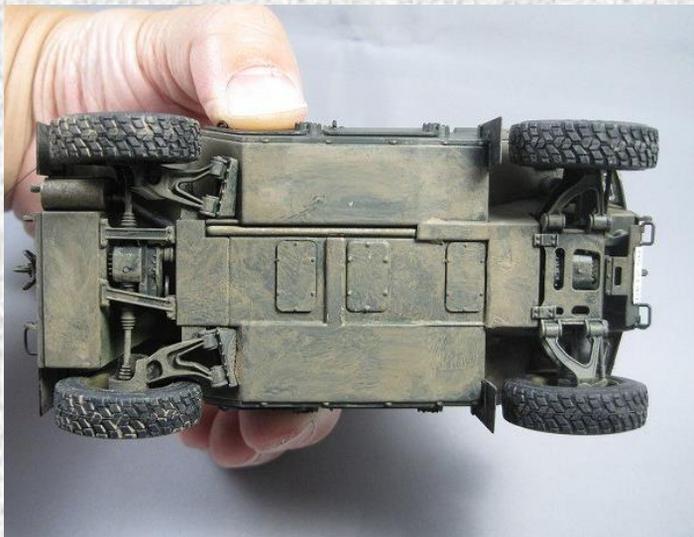
※全てGSIクレオス





車体はGS Iクレオスの自衛隊色セットを使用しました。濃緑色を全面に吹き付け、茶色で境界線を書いた後に内側を吹き付け…いつものパターンですが、車内を先に塗装して窓をマスキングし、それからの塗装となりますので、塗装行程には注意が必要です。

基本塗装の後、サクラマット水彩マルチ絵の具によるスミ入れを施した後、ウェザリングスティックを水で延ばして薄っすらと埃がかぶった程度にしました。やっぱり泥だらけでは汚いでもんね。



車体しかし、車体下部は汚くなってしまいます。ウェザリングスティックを塗りたくり、濡れ綿棒で延ばして拭き取ります。マフラーは泥が熱でこびり付くので、実車のマフラーを見ながら研究しました。でも、まだまだかな…



上: 10式戦車や96式装輪装甲車との訓練シーンを再現できます。

下: 大型トラックや高機動車と並べて災害派遣に向かうシーンも再現できます。(機関銃はつけませんが) 災害派遣・・・災害が起きませんようにと願うばかりです。



機関銃 MINIMI 搭載車両の  
高機動車、1/2トラック、軽装  
甲機動車・・・

カッコイイですよ！機関銃  
が付くだけでも、非装甲車両も  
強く見えちゃいます。

駐屯地記念日での訓練公開  
とかでこのような車両を見かけ  
ると思います。バシバシ写真を  
撮っちゃってくださいね！



左が今回製作したLAVの実車です。この他にも、他の車両を参考にして作り上げました。迷彩パターンとか同じなのですが、分かりますか？省略しているところもあるのですが、まあまあの出来ではないかと(笑)



さて、7月に入りました。高校生の皆様の募集解禁となります。全国の自衛隊地方協力本部の広報官が皆様に声をかけるかもしれません。お話だけでも聞いてください。で、出来れば受験してください(笑)

このコーナーによく出てくれる「はるかちゃん」にも女性広報官が声をかけています。「女性自衛官も全ての職域で活躍できるようになったのよ。どう？一緒に頑張ってみない？」「はい！頑張ります！」

**さあ、みんなも「はるかちゃん」に続こう！** ではまた！！